

ふき た さ と 吹田の郷

◆ 発行/すいた市民環境会議 ◆ 代表/小田忠文 ◆ 事務局/〒564-0032 吹田市内本町2-18-8 ☎・FAX 06-6319-0630 小田(午後 6時以降)

◆ 年会費/個人会員1000円 法人会員10000円 ◆ 振り込み先/00980-3-28845 すいた市民環境会議

吹田市自然環境講座

シティ・ナチュラリスト入門講座

回	日時	名称	講師	会場
1	10/27(水) 10:00~ 15:00	吹田市で見られる昆虫	奈良県あやめ池 自然博物館学芸員 河合 正人	千里北公園
2	11/17(水) 10:00~ 15:00	身近な樹木と野草	大阪教育大学 付属池田小学校教諭 菅井 啓之	千里北公園
3	11/25(木) 10:00~ 15:00	吹田市で見られる野鳥	吹田野鳥の会 平 軍二	千里北公園
4	12/ 1(水) 10:00~ 15:00	吹田の自然と環境保全	吹田市立山田中学校教諭 高畠耕一郎	千里北公園

- ◆ 参加費 無料 交通費・昼食代については各自負担
- ◆ 申込先 吹田市生活環境部環境公害課保全係まで電話で受付
☎ 06-6384-1231 内線 2632・2633
- ◆ 申込期間 10/6(水)~10/13(水)
- ◆ 募集人数 35人(原則的に、全講座を受講される方を優先にさせていただきます)

地球温暖化の日本への影響

 秋山こずえ

各国から1000人以上の科学者が参加した「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」の報告書によると「2100年までに地球の平均気温は2度前後上昇する」と予測しています。

「たった2度か」と思うかも知れませんが、この変化が起こった場合、地球は大きく変わってしまいます。

地球温暖化の原因である二酸化炭素(CO₂)を減らす対策は緊急を要する課題です。

【影響① 国土】海面が50cm前後上昇し、日本の砂浜の約7割が失われる計算が出ています。0m地帯や高潮・津波の氾濫危険地域も広範囲に拡大してしまいます。

【影響② 水】雨の降り方のむらが大きくなり、集中豪雨・干ばつが増加するおそれがあります。

【影響③ 農業】西日本ではジャポニカ米が収穫できなくなるかもしれません。また亜熱帯・熱帯の病気や雑草、害虫が農作物へ悪影響を及ぼす可能性もあります。

【影響④ 森林】温暖化により、樹木の育ちやすい場所が、北や山へ変わっていきます。また気候の変化に植物の移動速度が追いつかず、消滅樹木がでてくるおそれがあります。ブナ林の多くが消滅して、幅広い気温地域に分布するコナラ林に変化すると予測されています。

【影響⑤ 生態系】日本近海では、冷水性の海藻などが減少し、これを食物とするアワビやサザエ、ウニが減少します。暖水性植物プランクトンを好む魚類は増えます。

【影響⑥ 都市施設】都市ではエネルギーの集中的な使用などによる、ヒートアイランド化が、さらに進みます。

【影響⑦ 健康】熱帯や亜熱帯に見られる感染症の媒介動物が、中緯度地方にも進出してくるので、日本でもマラリア感染の危険性のおそれがあります。

CO₂を減らす、私達にもできること

【チャレンジ① 環境家計簿】 生活を見直し、家庭からのCO₂を減らす。

【チャレンジ② 1日1万歩】 自動車にたよらず、歩く楽しさを見つける。

【チャレンジ③ エコ・オフィス】 事業者は、環境への負荷をより少ないものとする。

【チャレンジ④ アイドリング・ストップ】 不要なエンジン使用は止める。

(環境庁資料より)

吹田操車場跡地貨物移転計画の説明会を受けて

小田忠文

幹事会は、この8月、鉄道建設公団の吹田操車場跡地への貨物ターミナル移転の説明を受けました。

皆様すでにご存知のように、今年1月に吹田操車場跡地計画で吹田市と鉄道建設公団、JR貨物が協定書を交わしました。その協定書に住民への説明会をすとあり、すいた市民環境会議幹事会として鉄道建設公団に説明を求めているのです。(周辺自治会へは順次説明会を行っています)

その場で、いろいろ質問をしましたがデーターのたぐいは「環境影響評価(環境アセス)をしないと出せません」との答えです。

説明を聞いて質問の答えを聞き、出席幹事の疑問は膨らみました。

- 1.貨物ターミナルへの出入口がなぜ一ヶ所だけなのか。
- 2.なぜ13mもの高さの2車線の専用道路がつくのか。
- 3.1日1000台と言われる車はどの方面へ何台くらい行くのか。
- 4.現在の梅田ターミナルの半分の量というが、将来貨物そのものの取り扱いが減り、吹田へ移転した量が全量になることはないか。
- 5.城東貨物線を利用してできる外環状線との関係はどうなるのか。
などなど。

1と2の理由は当日の質疑の中で判りました。

過去10年以上の吹田市や吹田市議会と旧国鉄清算事業団とのやりとりの中で「貨物ターミナルは迷惑施設である。迷惑な出入りのトラックは極力吹田市内を走るな」との条件で「軌道内を走る専用道路を考えた結果、一部13mの高さにならざるをえない」のだそうです。

しかしその結果、専用道路から出たトラックはすべてが東三国から新御堂筋を北上し、中央環状線から、約190台が国道176号を通過して大阪市内に、約165台が東大阪や南河内方面に向かう予想であることが判りました。(なんだかすごい遠回り)

これは周辺住民だけの問題ではありません。吹田市の利用可能用地のこととともに吹田市民全体の問題ではありませんか。

9月25日(土曜日)19:00からメイシアター集会室で市民を対象とした説明会があります。皆さん是非直接、鉄道建設公団の説明を聞いて下さい。

協定書には「住民の意見を可能な限り事業計画に反映させ、円滑な合意形成に努める」とあります。説明会は今のところ「説明・説得」でしかなく、市民の意見を反映させて、合意をするための作業が必要です。

吹田市がよりよい環境になっていくため皆さんの協力を期待します。



「芝生より雑草の方が美しい」と言うこと

✎ 伊藤 健一

吹田の町を車で走っていると、緑の多いことに気づく。

車道の分離帯にも多くの草木が生え、風に揺れるエノコログサに秋を感じ、マツヨイグサの黄色い花が心を和ませてくれる。その他、今の時期はハコベ・オオバコ・クローバー・ヨシ・スズメノテッポウ・オヒシバ・メヒシバ・イヌビエ・スイバ・ギシギシ・ヒメジオンなど多彩である。

人は風で季節の移り変わりを感じ、植物は日照時間の長短で季節の移り変わりを感じるようである。これらの野草は、種を蒔くこともなく、水をやることもなく、生まれ育っている。

空き地や緑地、分離帯などで育てられている草木は、剪定、雑草とり、散水が必要である。更に、公園では年間に何度も雑草の刈り取りが行われ、経費も多大であろうと思う。これらの維持、管理に努力されている行政、業者の方々に対しては心から感謝しているのは言うまでもないが、場所によっては、雑草を刈り取らず自然のままの公園、緑地としての野草公園などを提案したい。

のびほうだいの草に、昆虫が集まり、子供達が季節を見つけ、昆虫をさわる、今こんなことが大切な時代になっていると思います。

ドイツに在住の今泉みね子さんは・・・・・・・・
「芝生より雑草の方が美しいと思えるセンスが大切・・・」
「原生林が消失したドイツに比べ、日本には豊かで美しい自然が残っている、今からでも自然は守れる。日本人に自分たちの自然の美しさに気づいてほしい・・・・・・・・」
(毎日新聞)と語っている。

吹田の自然が、いつまでもあり続けることを願っている。



紫金山の里山再生事業と吹田自然観察会10周年行事の報告とお願い

1999.9.1 高畠 耕一郎

紫金山公園の里山再生事業のことと吹田自然観察会10周年記念行事の2つについて、連絡とお願いがあります。

紫金山公園では、昨年に引き続き里山再生事業をおこないます。これは、紫金山が本来の里山の機能を失ったため、全く手入れがされない状態が、戦後40年以上も続いていました。そのために、日光は直接あたらなければ、花を咲かせないコバノミツバツツジなどの植物が枯れつつあります。そこで、紫金山に何百年と続いてきた本来の植生を少しでも復活させようと、昨年より里山管理をおこない、常緑高木の伐採を市民



ボランティアの手でおこなってきました。これには、吹田市内はもとより、大阪府下からのボランティアの参加者と、大阪自然環境保全協会の里山管理実習リーダーの指導で、吉志部神社側の斜面をきれいにすることができました。すいた市民環境会議も組織的に応援参加し、多数の方がかわりました。

今年度も、吹田市の委託事業として、(社)大阪自然環境保全協会が引き受けて、市民のボランティアを募集して下記の要領でおこなうことにしました。関心のある方は、直接大阪自然環境保全協会 (TEL: 06-6374-3376 / FAX: 06-6374-0608) まで問い合わせて下さい。

10/9 (土) 13:00 99年度事業説明会 吹田市立博物館 研修室

雑木林の整備管理作業 = 10/16・11/13・12/11・1/8・2/5・3/11 いずれも土曜 9:30 ~ 15:00

次に、吹田自然観察会10周年記念の件です。吹田自然観察会は、私が事務局をしている団体で、すいた市民環境会議と会員を兼ねている方も多くおられます。吹田市内の自然を愛し、保全活動も活発にしています。結成が1989年11月ですので、今年に10周年記念行事をすることにしました。記念パーティは、11/14 (日) サニーストンホテルで12:30 ~ 15:30におこないます。参加費は3000円で昼食・飲み物・記念誌・会場費を含みます。是非、ご参加下さい。(申込先: 塩田敏治 TEL: 06-6875-5427) また、記念誌を作成し吹田自然観察会の10年の歩みを記録したいと考えています。吹田自然観察会に関わった人に「思い出や期待すること」を「私の1ページ」として書いていただくことにしています。現在、募集中です。すいた市民環境会議の方で、吹田自然観察会とのかかわりがある人も多いと思いますので、ぜひ、B5判1ページ分の原稿をお寄せ下さい。

内容は「吹田自然観察会と私」「思い出」「期待すること」などをB5判1ページ(横書き、37字・40行、余白20mm)で、絵などの割り付けは、自由にして下さい。いずれにしても、いただいた原稿をそのまま印刷します。

10/23 (土) までに、〒565-0835 吹田市竹谷町2-1-612 芝崎 真知子 宛に原稿をお送り下さい。
以上、2件、報告とお願いをしました。

大木と吹田の散策みち

片山みち

☆と き / 7月24日(土) 9:300~12:00

☆集合場所 / 吹田市役所玄関 参加人数/14人

☆コース / 泉殿宮—玉林寺・帝釈天—片山公園—関西鉄道学園・研修センター—愛宕神社—JR吹田宿舎—片山神社—アサヒビール吹田工場

社寺のまちを歩いて

村住 和子

片山みちの散策に参加、以前参加した北千里とは違った風情のある街でした。泉殿宮は、私の住む南清和園では毎年 戎さん、節分の行事のお知らせは頂いていましたが、なかなかいけなかったのですが、淀川の伏流水の噴出で 869 年の疫病と水不足にその清泉（泉殿霊泉）が役に立ち、又大塩平八郎の乱との関わりがあったことを聞き、歴史との繋がりを身近に感じながら次の玉林寺・帝釈天へ歩きました。鬼瓦観てイチョウの大木に感激、又次ぎの片山公園への細い坂道では、我が家から 10 分程のところとは思えない田舎を連想させてくれる、“みち” から片山公園の和風庭園へ、吹田の「平和の塔」を見てばら園で休憩後、強い日差しの中、関西鉄道学園・研修センター・新幹線の実習場墟地と吹田とJRとの関わり大きさにも改めて考えさせられました。操車場跡地の利用、人にやさしい街づくりを・・・と願いつつ愛宕神社跡へ、愛宕神は火除けの神様との話を聞き、アラカシの大木見た後JRの宿舎から片山神社へ、新しくなった神社を通りアサヒビールの迎賓館へ、大木もあり静かなところでした。

今回は側道に緑がなく、照り返しのきつい緑の恋しいコースでした。

吹田の北と南の環境の違いを感じた“片山みち”でした。次回も参加させていただきいろいろな吹田を見ていきたいと思います。

一緒に歩きませんか

千里丘みち

— 日 時 / 11月27日(土)9:30~12:00

— 集合場所 / JR千里丘駅改札口

— 持ち物 / 水筒

— 参加費 / 500円(資料・保険)



《 吹田市の鳥 NO.11 》

コサメビタキ(小雨鶺)

ヒタキ科

我が世を謳歌していたツクツクボウシの声がいつの間にか小さくなり、草むらからコオロギなど鳴く虫の声が響き始める9月、鳥の世界は秋の渡りの季節に入っている。秋の渡り鳥は春と異なって声を出さない(囀らない)ので、林の中に小鳥がいることに気づかない場合が多いが、餌の虫を探しながら飛び回っていたコサメビタキが、ずっと目の前に飛んでくると思わず頬がゆるんでくる。

コサメビタキは体長13cmとスズメよりやや小さい鳥で、色は灰褐色の地味ではあるが、目の周りが白く目がクリクリとして大きく見える。コサメビタキはゴールデンウィークの頃日本各地に渡来し、平地から山地にかけての林の中で子育てをして、冬は日本より南の国に渡って越冬する夏鳥である。大阪府内では金剛山などに繁殖記録があるものの、近郊の平地で観察できるのは春・秋の渡りの季節、特に秋は公園の林に多数のコサメビタキが休んでいくのが良く観察できる。

吹田市でコサメビタキが観察できる所は、万博公園、津雲公園、南千里公園、紫金山公園、片山公園、千里緑地(高野台)、垂水神社など、コナラ・アベマキやサクラなど落葉樹がある公園や神社の明るい林で、時期は9月中旬～10月中旬である。

コサメビタキは虫や木の実を主食にしている小鳥で、渡りの途中に立ち寄った吹田市内の公園の林では虫を探しているが、林の枯れ枝の先に待っていて空中にいる飛ぶ虫を見つけると飛び立ち、フライングキャッチして元の枝へ戻る行動を繰り返す。林の中ではあまり遠くへ移動しないので、コサメビタキを一度見つけると長く観察し続けることができる。

この季節に観察できるコサメビタキ(そしてサメビタキ・エゾビタキ)などサメビタキ類は、何れも灰褐色の地味な色の小鳥であるが、円らな瞳が愛らしく、一度その瞳に見つめられると忘れられなくなり、コサメビタキを見てバードウォッチングを始めたという人が少ない。

澄み切った青空の下、コサメビタキを見に身近にある公園の緑の中を歩きませんか。

99.9.12 平(ヒラ)軍二



∞∞ まちなみ委員会(仮称)・委員募集 ∞∞

まちなみ委員会を発足させることになりました。
吹田のまちなみは今ままで充分美しいでしょうか？
住みやすいでしょうか？

近くの駅前あなたのまちの顔として誇りをもてますか？
どうしたら美しく、住み易いまちになるかみんなで考えませんか。
未来の子どもたちに住みたいと思うまちなみを残す努力をしましょう。

上記主旨に賛成し、委員会に参加したいと思われたら迷わず、連絡して下さい。
会合日に出席できなくても、議事録をお送りします。都合のつく時に出席できます。

まちなみ委員会・第一回委員会

日時 10月5日(火) 19:00~21:00

場所 吹田市民会館

参加費 無料(その後のことは当日、出席者で決めます)

連絡先 松岡 要三

〒565-0851 吹田市千里山西4-39-C608

TEL&FAX 06-6384-8168

∞∞ 釈迦ヶ池東ビオトープ委員会(仮称)委員募集 ∞∞

紫金山公園にある釈迦ヶ池の東側に水田跡地があります。そこを借りることになりました。湿地のあるビオトープにしたいとの意見があります。

楽しい、水に親しめるビオトープを私たちが作りませんか

植物の好きな人、昆虫の好きな人集まりましょう。ワイワイと楽しくビオトープを作りましょう。(今は水田の雑草と言われる植物が生えています)

どのようなビオトープになるかそれは私達次第です。

興味のある人は連絡して下さい。初会合に出席できないからとあきらめずに。

釈迦ヶ池東ビオトープ委員会・第一回委員会

日時 10月12日(火) 19:00~21:00

場所 吹田市民会館

参加費 無料(その後のことは当日、出席者で決めます)

連絡先 小田信子 TEL&FAX 06-6319-0630

☎564-0032 吹田市内本町2丁目18-8

《紫金山・梅林公園のアベマキ》

樹皮が灰褐色の分厚く、縦に深く裂けたコルク層でおおわれ、葉は大きな長楕円形で葉の裏に灰白色の毛が密生しています。

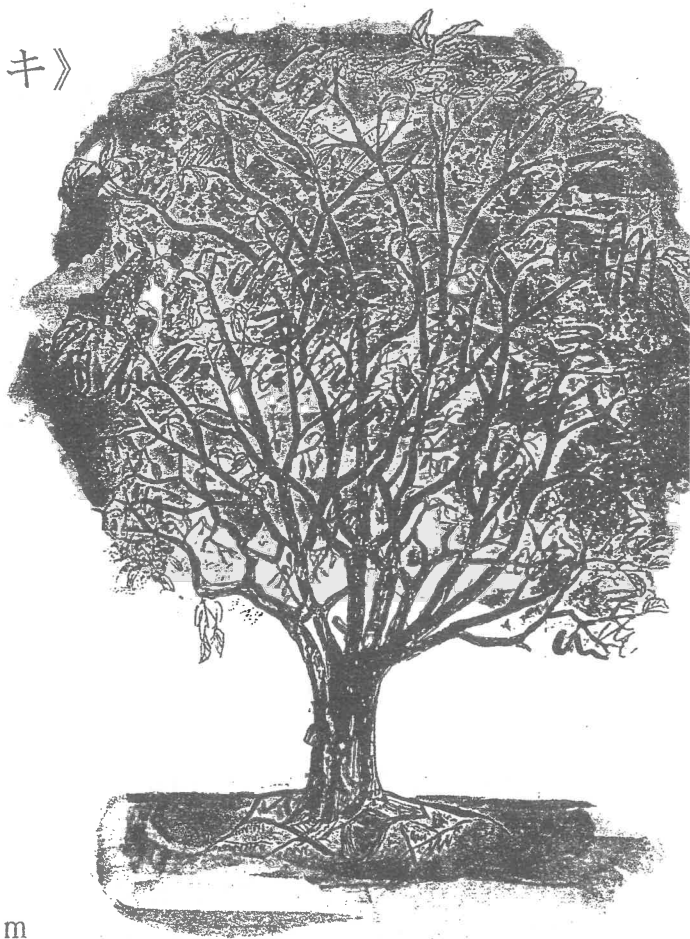
アベマキ、クヌギなどの林には色々な植物や、鳥が好む虫たちも多く、シジュウカラ・エナガ・コゲラなどの小鳥も多い。

アベマキは吹田ではクスノキ・サクラに次いで3番目に多い木であり、垂水神社や伊射奈岐神社（佐井寺・山田）のほか、紫金山公園、片山公園、山田（日生団地ほか）などに分散して残っています。

◆樹高 17m

◆幹回り 2.1m

浅田 都司男



すいた市民環境会議の最近の活動

- ◆ 山の谷ビオトープ作業
- ◆ ヒメボタル実行委員会出席
- ◆ 鉄建公団の説明会

幹事会	10月16日(土) pm1:30~	市民会館にて	お気軽にご参加ください
	11月20日(土)	" "	" "
	12月18日(土)	" "	" "

環境問題、自然・歴史・文化の保全、創成を考える市民組織

すいた市民環境会議 入会受付中 !

- ◆ 年会費 個人会員1000円/法人会員10000円
- ◆ 振り込み先 00980-3-28845 すいた市民環境会議